

# 神戸市の求める教員像



# 充実した神戸市の研修体制等

神戸市では、教員のライフステージに沿って、基本・専門・職務・自己啓発の4つの領域の研修プログラムを用意しています。必要とされる知識・技能をより効果的に身につけることができ、学級経営や授業づくり等の悩みの解決にも活用されています。特に若手教員には次のような研修プログラム等を用意しています。

## 初任者育成3年プラン

初任者研修や二年次・三年次フォローアップ研修(小学校・中学校・高等学校、特別支援学校の各校種別に小グループを編成して実施)で、研究授業、事前の指導案検討などを行います。他校の教員と一緒に話し合う機会も多く設けられています。  
また、スーパーアドバイザー(指導力に優れた校長OB、教員OB)によるマンツーマンの指導を受けることもできます。

## 自己啓発研修の充実

教員としての基礎的な力の定着、専門職としての知識・技能の向上の二つの側面から教職員を支援することをねらいとする「授業づくりセミナー」を、平日夜間または第2・第4土曜日に実施しています。幅広い世代のニーズを踏まえつつ、演習を取り入れた参加型研修などの効果的なプログラムを提供するとともに、世代を超えた学び合いの場として積極的な参加を呼びかけています。  
また、学校教育の担い手としての教育力を高めるため、土曜日に自主的な研修を行っています。複雑で多岐にわたる教育上の諸課題、授業改善、特別支援教育、生徒指導などをテーマとした講義・演習を実施しています。

## 授業づくりコーナー

若手教員等の授業づくりを効果的に支援するため、総合教育センター2Fにある「授業づくりコーナー」では、教材や学習指導案、授業DVD等の教育資料を集積し閲覧等もおこなっています。  
平日午後5時まで(火・木曜日は午後8時45分まで開室)及び長期休業中以外の第2土曜日(午前)、第4土曜日(午後)に開設しています。  
■実際の授業を撮影したDVDや教材DVD約400本の視聴閲覧が可能  
■各種研究授業における学習指導案を集積するとともに、神戸市情報教育基盤サービス(KIIF)を通じて、広く教員に配信しています。

## 悩みについての相談体制も充実

学級経営や授業などの悩みは学級経営・授業づくり支援室、職場・家庭の問題の悩みは教職員相談室でアドバイスを受けられるほか、学校でもスクール・カウンセラーに相談することができます。



### 出願から採用まで

採用説明会(総合教育センター) … 4月20日(土)及び5月6日(月・祝)  
願書受付締切 …………… 5月10日(金)17時必着  
受験票送付 …………… 6月14日(金)※1次面接日程は7月12日(金)通知  
第1次選考  
●筆記試験 …………… 7月6日(土):教職・一般教養、専門教科、適性検査  
●集団面接試験 …………… 7月20日(土)～7月26日(金)のうち指定する1日  
※《第1次選考結果発表》 …… 8月7日(水)(予定)  
第2次選考(筆記、実技、個人面接)  
・8月16日(金)～9月6日(金)のうち指定する日  
実技試験実施区分 幼稚園、小学校、小学校英語コース  
中・高校(音・美・保体・技・家・英)、養護  
※《第2次選考結果発表》 …… 10月上旬  
合格者は採用候補者として名簿登載  
採 用 …………… 2020年4月～

## 神戸市教員の給与

校 種	学 歴	初 任 給 等
小・中学校	大 学 卒	244,645円
	短 大 卒	218,137円
高等学校	修 士 課 程 大 学 卒	261,585円
	大 学 卒	242,166円
幼稚園	大 学 卒	230,532円
	短 大 卒	203,425円
特別支援学校	大 学 卒	255,118円
	短 大 卒	227,476円

※平成30年度給与ベース。ただし、給与改定される場合があります。  
※初任給等は、給料、地域手当、教員特別手当等の合計額です(月額)。  
※その他、期末勤動手当、通勤手当、扶養手当、住居手当等が支給されます。

# 2019年実施 神戸市教員採用 選考案内

**選考日**

- 第一次選考  
筆記試験  
2019年7月6日(土)  
集団面接試験  
2019年7月20日(土)～7月26日(金)
- 第二次選考  
筆記試験、実技試験、個人面接試験  
2019年8月16日(金)～9月6日(金)

# BE KOBE EDUCATION

## 神戸市の独自教材



## 神戸市の教員・学校数

校 種	教 員 数	校 園 数
小 学 校	4,663	163(分枝1舎)
中 学 校	2,447	84(分枝3舎)
義 務 教 育 学 校	61	1
高 等 学 校 (全 日 制)	432	5
高 等 学 校 (定 時 制)	118	3
幼 稚 園	262	36
特 別 支 援 学 校	711	6(分枝1舎)
高 等 専 門 学 校	95	1
合 計	8,789	299

(教員数は平成30年5月、校園数は平成31年4月の数値)



# わたしたちの神戸 ～「住む・働く・学ぶ・憩う」の魅力満載～

神戸は、豊かな自然と文化が息づく街です。昔から港町として栄え、映画やゴルフ、マラソンなどの外国文化発祥の地としても有名です。異国情緒あふれ、洗練された美しい街並みも魅力です。国際会議やスポーツ文化交流もさかんで、外国文化を積極的に取り入れてきた神戸には、開放的で自由な気風があります。有名な観光スポットとして、有馬温泉や六甲山牧場、異人館・旧居留地、王子動物園、須磨海岸、ハーバーランドなどがあり、神戸まつりや神戸マラソン、神戸ルミナリエにも数多くの人々が訪れます。神戸は、多種多様な産業がさかんで、昔から船舶や鉄鋼、車両、洋服、靴、真珠、洋菓子などに代表される「ものづくり」とともに、近年は「医療産業」にも力を入れています。

神戸は、ユネスコが認定する「デザイン都市」として『住み続けたいまち、訪れたいまち、継続的に発展するまち』を目指しています。そして、神戸の人々は、震災からの復興の過程で学んだことを生かして、人と人とのつながり・感謝の心・ボランティア精神を大切にしています。これからも「神戸らしさ」をみつめて、新たに「住む・働く・学ぶ・憩う」環境の豊かさを創造していきます。



## 神戸の教育 ■教育理念 人は人によって人になる

■目指す子供像 心豊かに たくましく 生きる人間

神戸の教育は、阪神・淡路大震災からの教育復興を経て、新たな教育創造へと歩み続けてきました。平成26年に「第2期・神戸市教育振興基本計画」を策定し、「教育日本一のまち神戸」を目標に、これからも家庭・地域・学校が手を携えて、子供を第一に考え、努力を積み重ねていきます。

1. 一人一人の自立に向けた力を伸ばす
2. 教職員・学校の魅力と実力を磨き高める
3. 特色ある神戸の教育を更に発展させる
4. 市民が自ら学び子供の育ちを共に支える

## 神戸市教育大綱

教育の目標や根本的方針を定めた「神戸市教育大綱」を平成28年1月に策定しました。今後、大綱に基づき神戸の教育に取り組みます。

1. 学力の向上に取り組みます。
2. 教員の資質向上を図ります。
3. 学校の組織力を強化します。
4. 教員の多忙化対策に取り組みます。
5. 学習の機会均等を確保します。
6. 子供たちが健やかに育つ環境を整備します。
7. 教育に関する科学的な調査研究を進めます。

7つの方向性

# 神戸の子供たちがあなたを、待っています！

私たちと一緒に、子供たちと充実した毎日を過ごしませんか！ Be a New Teacher in KOBE

**広陵小学校**  
前平 奈美

小学校教員は、1日のうちのほとんどをクラスの子供たちと過ごし、その成長を間近で感じることができます。学校生活の様々な場面で、子供たちの笑顔がはじけ、生き生きと活動する姿や、仲間と助け合い、一生懸命に挑戦する姿を見る毎日は、とても充実しています。子供たちの人生の基礎を築くという責任は重いですが、いつも子供たちの目線に立ち、輝く未来へと導けるよう、私自身も学び続けていきたいと思っています。



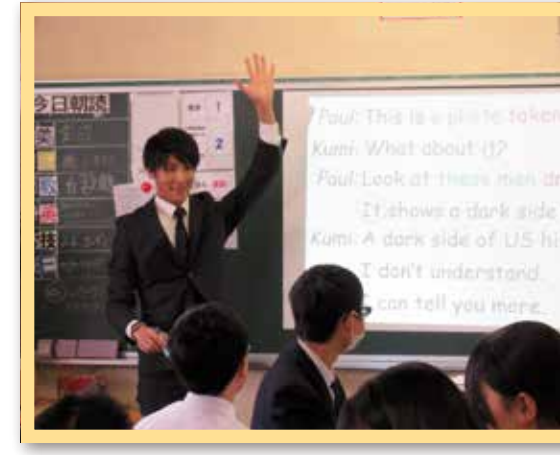
**友生支援学校**  
内藤 すなを

私は今、大好きな学校という場所で子供達と過ごすことができ、とても幸せです。「この子にはどうやって関わればよかったのか」と悩むこともありますが、子供達のキラキラした笑顔を見ると、今日も一日一緒に頑張ろうという気持ちになります。子供達に毎日継続した支援を行うことで、できなかったことが少しでもできるようになることが、私の一番の喜びです。これからも、子供達とたくさん笑って、共に成長する日々を大切にしたいです。



**桜が丘中学校**  
有馬 聡一

私たちの仕事は毎日「出会い」の連続です。授業や部活動、学校行事を通して成長した新しい子どもたちの姿を見ることは私の楽しみでもあり、同時に学びでもあります。そんな子どもたちに対して何ができるのか、どんな姿を見せられるのか、勉強と研鑽の毎日です。教育に対する意識が年々変革を遂げていると同時に、英語教育も進化を遂げてきています。その中でしっかりと未来を見据え、私たちが学び続けることが必要不可欠だと思うのと同じく、楽しさを感じて日々を過ごしています。



**兵庫くすのき幼稚園**  
倉部 汐里

「幼稚園楽しい!大好き!」と、子供たちが安心して過ごすことができるクラスづくりを心掛け、保育に励んでいます。保育では、分からないことや上手くいかないこともたくさんありますが、先輩の先生方からのご指導や子供たちの笑顔に支えられながら、少しずつ成長していけるよう努めています。子供たちと一緒に様々な感動体験をしたり、学んだりしながら、一人一人の思いに寄り添うことのできる教師を目指していきたいと思っています。



**楠高等学校**  
藤田 湧平

現在、私は定時制高校に勤務しています。さまざまな家庭環境や背景を抱える生徒が多いですが、生徒一人一人が目標に向かって頑張っている姿を見て、私自身も生徒のために何ができるのかを日々考えながら過ごしています。生徒のためにしてあげられることは、ほんの少しかもしれませんが、その少しができた時に、とてもやりがいを感じます。うまくいかないときもありますが、生徒に寄り添い、生徒のためにできることを増やしていけるように努力していきたいです。



**明親小学校**  
前田 彩花

「いいにおいがする」「なんだかホッとする」…。保健室に入ってきた時の子どもつぶやきです。保健室に来る理由は、けがや病気だけではなく、心の中に誰にも言えないしんどさを抱えている子どもが、ふらっと立ち寄ることができるということも、保健室の大切な役割だと思っています。毎日様々な出来事が起こりますが、子どもたちの可愛さに癒され、私も元気をもらっています。これからも、子どもたちと一緒に成長できる養護教諭を目指したいと思っています。

